

与省份 に注意

~その被害を防止するために

北アメリカからペットとして日本にやってきたアライグマ。

名古屋市内でも野生化し、近年、家屋への侵入や農作物への被害が報告されています。

アライグマの被害にあわないためには、その生態を知り、被害を未然に防ぐことが必要です

グマってどんな動物?

- 鼻すじに黒い線がある。
- 耳は少しとがり、白い縁どりがある。
- 目のまわりから頬にかけて黒いマスクがある。
- ・ヒゲが白く目立つ。

- 指は5本で細長い。
- ・足あとは、ヒトの手形と 似ている。







後足の跡

- 尾を含めた長さ60~100cm。



黒と茶色のしま模様 $(5 \sim 7 \, \Delta)$ 。

多様な環境で生息可能

- 水辺を好み、森林、農地のほか、市街地でも 生息できます。
- 民家の屋根裏や社寺にすみつくこともあります。
- 夜行性ですが、しばしば昼間にも活動します。

高い繁殖力

● 毎年4~6月ごろ に、3~6頭の子 を出産します。

何でも食べる!

- 雑食性で、果物、野菜、穀物、哺乳類、 トリのひなや卵、サカナ、昆虫など を食べます。
- ペットフードも食べます。

外来生物法に基づく規制 アライグマは、外来生物法における「特定外来生物」に指定されています。



飼育・保管



生きたままの運搬



野外への放出

などの行為が、原則禁止されています。

(外来生物法は、正式には「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」といい、平成17年6月1日から施行されています。

どんな被害があるの?

生活環境への被害

- ●人家の屋根裏や空き家に すみつき、繁殖します。
- ◎家屋を糞尿で汚したり、 柱や壁を爪で引っかいて 傷つけます。
- ●エサを探して、放置され た生ごみを漁ります。
- ●屋外の鉢で飼育している キンギョなどが被害を受 けた事例もあります。

農作物への被害

- 甘みのある作物を好 み、田畑や家庭菜園 に侵入して食い荒ら します。
- 名古屋市では、ブド ウ、トマトなどへの 被害が報告されてい ます。

生態系への被害

- ●日本にはアライグマの 天敵がおらず、在来の 生きものや生態系に影 響を与える恐れがあり ます。
- 名古屋市では、カメや 両生類(カエルやサン ショウウオ) など、小 動物を捕食している可 能性があります。





屋根の上の糞

被害を防ぐためにできる3つのこと

①エサとなるものを放置しない。

- 家庭ごみや、収穫した農作物を野外に放置しない。
- ペットのエサの食べ残しは片付ける。

②家屋への侵入を防ぎ、入らせない。

- 建物への入口となるような壁の穴は塞いでおく。
- 池で魚やカメを飼っている場合には、金網で覆う。
- 家屋への侵入経路となるような木の枝などは切る。

3見かけでも触れない。

- アライグマは鋭い爪や歯を持っているので、無理に取り押さえない。
- 感染症をもつ可能性があるので、糞尿を処理するときも、マスクやゴム手袋を着用する。

名古屋市内でみられる外来哺乳類



外来生物法 特定外来生物



ハクビシン

愛知県条例 条例公表種



シベリアイタチ

午来哺乳類



タヌキ

名古屋市版レッドリスト2015 準絶滅危惧

わたしたちに できること。へ

外来種の広がった原因のひとつに、ペット遺棄があります。 ペットを飼う前には、その生きものについてよく調べることが大切です。

☆どのくらい大きくなるのか

☆どれくらい長く生きるのか

☆どんな性格なのか(例:臆病、どう猛)

そして、飼いはじめたときは責任をもって最後まで飼い続けましょう。



● アライグマを目撃したら、なごや生物多様性センターまで情報をお寄せください。

名古屋市環境局 なごや生物多様性センター

〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目 230 番地

TEL 052-831-8104 【受付時間 8:45 ~ 17:30 (土・日・祝日を除く

FAX 052-839-1695

Eメール bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp